

第3回 企業・NPO “異次元” 交流ライブ 淀川区編

●日時：2013年12月10日（火）14:00～16:30 ●場所：淀川区役所5階会議室

●参加者：25団体29名

（企業3社、NPO3団体、個人・商店2団体、
学校園4団体、その他8団体、地活協5地域）

●共催：淀川区社会福祉協議会、淀川区まちづくりセンター支部、淀川区NPO連絡会準備会

●協力：大阪市ボランティア・市民活動センター

企業やNPO、地域活動協議会をはじめ、事業分野や活動形態の違う団体が集まり、新しい企画や活動のアイデアを生み出す「企業・NPO “異次元” 交流ライブ 淀川区編」。

第3回目はこれまでに生まれた協働事例の紹介と、ワールドカフェ方式によるワークショップを行いました。

第1部 開催趣旨・協働事例の共有（14:00～14:50）

第1部での事例報告の様子



「神津地域活動協議会」の草積祥子氏は、小型家電回収イベント・地域清掃活動におけるNPO・商店街・企業との協働事例について、「相続ファーム大阪」の荻野裕樹氏は木川南地活協の防犯・防災部会や新北野地活協の高齢者食事サービスで、司法書士の知識を活かし、悪徳商法の被害から身を守るための講座を開催した事例について紹介されました。

また「大阪保健福祉専門学校」の庄田明先生は、ふれあい喫茶や高齢者食事サービス、北中島まつりの開催を通じた北中島地域と協働について紹介し、地域活動への参加が学生の人材育成にもつながっていることについてご報告を頂きました。

豊かな協働による取り組み事例報告

第2回異次元交流ライブ以降に生まれた団体と地域の協働事例について、3団体より発表を頂きました。

- ・「神津 ECOECO ステーション」
神津地域活動協議会（草積 祥子 氏）
- ・「木川南・新北野地活協での講座開催」
相続ファーム大阪（荻野 裕樹 氏）
- ・「北中島地域行事での学生ボランティア」
学校法人 大阪滋慶学園
大阪保健福祉専門学校（庄田 明 氏）

3つの事例に共通するポイントとは

大阪市ボランティア・市民活動情報センターの松尾浩樹さんは、今回の事例に共通する3つのポイントについて紹介。

1. 多様な主体が顔を合わせる機会を設定
2. とにかくトライ
3. 組織の大小に関わらず、互いを尊重

団体の持ち合わせている強みを掛け合わせ、ニーズや資源をうまく組み合わせることが協働のポイントだと解説されました。

第2部 企業・NPO “異次元” 交流ライブ

『防犯』『防災』『広報・情報発信』『イベント・交流』『人材（若手）育成』の5テーブルで20分間×3セッションのワークショップを開催。セッションごとに参加者が入れ替わるワールドカフェ方式で「地域の課題を協働で解決するアイデア」について議論を深めました。



■各テーブルでの話し合い（キーワード）

テーブル	A テーブル：防犯	B テーブル：防災	C テーブル：広報・情報発信	D テーブル：イベント・交流	E テーブル：人材（若手）育成
第1セッション	防犯活動で力を入れるべきこと 「自己防衛」「弱者を守る」「子どもの見守り」「SNSを使った軽犯罪通知アプリ」	想定される災害の内容とは 「地震」「竜巻被害」「風水害」「津波」「液状化」	広報・情報発信で、できそうなこと 「団体相互のHPをリンク」「映画予告編と一緒に流す」「法律の社会的資源の案内」	交流イベントのターゲット 「若い世代向けのイベント」「どんなニーズがあるのか調査したい」	若手人材に伝えること、接する姿勢 「石の上にも3年」「してみせる、やらせてみる、ほめてやる」
第2セッション	現在の取組みとできること 「店先での見守り活動」「防犯チラシの作成サポート」「防犯セミナーの開催」	災害対策で必要なこと 「避難所、防災備品の確保」「日頃からの注意喚起」「衛星通信やスマホの活用」	広報・情報発信の課題と工夫 「受け手の立場に立って考える情報受信」「コンビニに地域情報を」	交流イベントの内容 「ダンス、ファッションショー、音楽、講座等」「参加しやすい時間帯」	若手人材の定義と、疑問点の整理 「何歳まで若手？」「地域にどんな団体があるか分からない」
第3セッション	防犯対策で必要なこと 「警察署との連携体制を日常化」「振込め詐欺を防ぐ家族間の合言葉」「護身術」	避難所での配慮と、できること 「障がい者への配慮」「心・身体のケア」「情報発信のサイトの提供」	広報・情報発信で、できそうなこと 「各団体の案内を置いておくネットワーク作り」「企業向けセミナーでのチラシ等の配布」	イベント開催時の運営の仕方 「多くの団体を巻き込む運営」「イベントの担当者や窓口を決める」	人材像の具体化、巻き込みの工夫 「40～50歳代の女性」「地域活動に新しい風を吹き込める人」「NPOと地域の接点を増やす」

【参加者の声から】

「普段、お会いすることができない方と交流のできるよい機会だと思います」「地域活動に関心のある方が多いこと、その大切さについて考えさせられた」「5つのテーブルでの課題提示の新しい試みに興味を持った」「ワークの項目のつながりに納得しました」「若い人に、地域に入ってもらうためには、どうすればいいか。若い人の意見を、もっと取り入れなければならないのでは？石の上にも3年では人は集まりません…」「今後も継続してやっていただきたいです」「次回も楽しみにしています」（抜粋）

◎お問い合わせ先

淀川区まちづくりセンター支部 TEL：06-6309-5656